

2025年6月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 6月えんだより

6月聖句：「求めなさい。そうすれば与えられる。探しなさい。そうすれば見つかる。」

＜マタイによる福音書7章7節＞

紫陽花が大きな花を開かせる梅雨の季節がやってきました。この時期は雨が多く、鬱陶しく思うかもしれませんが、この梅雨の季節がなければ草花は育ちませんし、今注目されているお米も育ちません。晴れの天気もすがすがしく気持ちのよいものですが、雨の天気もまた神様が与えてくださった自然の中の大切な季節。ただ昨今は地球全体が悲鳴を上げているのか、自然災害にも注意が必要ですが、この時期ならではの自然の美しさ、小さな虫たちの躍動、そんなことにも目を向けていければと思います。

さて、今月の聖句は「求めなさい。そうすれば与えられる。探しなさい。そうすれば、みつかる。」です。私たちは日々、色々な願いをもちますが、本当にその願いが良いことなのか、実はわからないのではないのでしょうか。もし願い通りにしかならないならば、願いは呪いになるのかもしれない。しかし、神さまへの祈りは違います。神さまは私たちの祈りを聴き、御心（みこころ）を通して良いものをくださいます。ここにアメリカの南北戦争の時代に怪我をした南軍の兵士が書き、今もニューヨークのリハビリテーション病院の壁に飾られているという「ある無名兵士の詩」という詩を紹介します。

『大きなことを成し遂げるために力を与えてほしいと神に求めたのに、
謙遜を学ぶように弱いものとされた。

より偉大なことができるように健康を求めたのに、
よりよいことができるようにと病気をいただいた。

幸せになろうとして富を求めたのに、賢明であるようにと貧しさを授かった。

世の中の人々の称賛を得ようとして成功を求めたのに、

神を求め続けるようにと弱さを授かった。

人生を享楽しようとはゆるものを求めたのに、

あらゆることを喜べるようにと命を授かった。

求めたものは一つとして与えられなかったが、願いはすべて聞き届けられた。

神の意に添わぬものであるにもかかわらず、心の中の言い表せない祈りはすべて叶えられた。

私はあらゆる人の中で最も豊かに祝福されたのだ。』（渡辺和子 訳）

自分の思い通りにはならないことが多いのが人生かもしれません。子どもの成長も同じく、長い人生の中では挫折・失敗ということもあります。親としては、子どもにはそのような挫折・失敗が無いようにと願うのは当然ですが、親が先回りし、それらをすべて取り除くことも出来ません。保育園という小さな社会の中でも色々な挫折・失敗があります。その瞬間、その当時にはわからなくても、その経験を通して、自分の気持ち、相手の気持ち、新たな気づきや新たな発見、また違う景色が見えてくることもあります。それが神さまの『めぐみ』として一人ひとりにあることを保育者も保護者の皆さまと共に願い、求め、信じて見守りたいものです。

年主題：「ともに」 年主題聖句：「わたしはあなたと共にいる。」（イザヤ書43章5節）

6月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	なになかな なになかな／なんだろう	かんじる／みつける
	- 保育者の祈りや讃美歌の中に身を置く - まわりの人に関心をもつようになる - まわりの自然に触れ、親しみ、体で感じる - 保育者の祈りや賛美を喜んで、真似をする - まわりの人やものに関心をもち、遊びを広げていく。 - 自然に触れ合う中で不思議な事柄にであう	- 季節の花、虫、雨や雲の動きなど身近な自然を通して、天地を創られた神さまを感じる - 友だちと一緒に過ごすことを嬉しく感じるとともに思い通りにならない経験もする - 聖書のお話の中に、神さまの私たちへの愛やまもりを感じる - 興味をもったことからの探求を楽しみ、体験や知識を広げていく。また絵本やうた、保育者や友だちの話からことばの世界を深めていく
讃美歌	ひとりひとりのなをよんで 幼児讃美歌Ⅱ②⑩	きみがすきだって こども改132